

令和4年度(2022年度)

肥後っ子いきいき読書環境づくり事業講座

「子どもの育ちとわらべうた」



主催 熊本県立図書館

期日 令和5年(2023年)2月20日(月)

13:30~16:00

会場 熊本県立図書館3階大研修室

講師 湯澤 美紀 氏

(ノートルダム清心女子大学 教授)

参加者 50人

対象 公共図書館、幼稚園・保育園職員、子育て支援センター職員、
おはなしボランティア、文庫関係者など

前半 講演「子どもの育ちとわらべうた」

まず、わらべうたを研究するきっかけとなった講師ご自身とわらべうたの出会いのお話から始まり、「♪ふねのせんだうさん」にまつわる親子の事例を参考に、わらべうたが子どもと大人の愛着の土台となることをお話しいただきました。研究者としての立場だけでなく、親、保育者、おはなしボランティアなどの第三者の視点での話を聞くことができ、数々のわらべうたの紹介や子ども達と触れ合う現場の様子、保育者を目指す大学生たちのエピソードを豊富に交えながら、心理学の観点からも、わらべうたが子どもの発達にどう関わるか説得力のある講演をしていただきました。



後半 講演・実技「わらべうたを楽しむ」 質疑応答

後半はおはなし会のプログラムとしても使えそうな流れで、たくさんのわらべうたの実践を学びました。今回、講師の湯澤先生だけでなく岡山からご同行して下さった5名の協力者の方々と共に、ひとりでの遊び方だけでなくグループで楽しめるわらべうたの実践も見せていただきました。わらべうたのリズムに乗って、受講者も一体となって実践するうちに、会場が温かい空気に包まれており、人とつながるわらべうたの魅力をさっそく体感することができました。

わらべうたの楽しさや魅力を、まずは子どもたちと楽しく遊ぶことで伝えていきたいと心から思える講座となりました。



参加者の感想(アンケートより一部抜粋)

・わらべうたが子どもに”効果的”なのは分かっているつもりでしたが、それがなぜなのか？理論的に説明していただけたのは大変説得力がありました。今後自信をもってわらべうたを普及していけそうです。(公共図書館職員)

・わらべうたの必要性や、親子の関係性においてもとても大切なことが伝わってきました。生の声で伝わってくる温かさは、大人でも心が和やかな気持ちになりました。実践も盛り沢山の内容で、よかったです。(公共図書館職員)

・とても楽しく受けさせていただきました。すぐに保育現場で使えるわらべうたを教えてください、とても良い学びになりました。(保育園職員)

・私自身、わらべうたで育っていない世代で、いまいちわらべうたの大切さを理解できていなかったのですが、湯澤先生のお話を聞いて、子どもの発達にとっても良いことが分かったのと、私自身心が温かくなったような気持ちになりました。仕事だけでなく、我が子にも今夜からやりたいと思います。(子育て支援員)

・わらべうたをむずかしく考えず、子どもたちやお母さん方と楽しい時間を過ごすためにどんどん活用していきたいと思いました。ありがとうございました。実技を交えてとても楽しい時間をありがとうございました。(子育て支援員)

・わらべうたは人との愛着関係をつくる大切なものだ分かった。体で遊んだ体験があると忘れないとのことだったので自分でもわらべうたをしていきたい。たくさんの方のわらべうたの紹介があり楽しかった。(おはなしボランティア)

・具体的なエピソード、実演を交えてのお話でとても分かりやすく楽しかった。子どもたちとの時間がますます楽しくなりそうです。先生方のあたたかなチームワークすてきでした。(おはなしボランティア)

講座で紹介されたわらべうた

- ♪こいのたきのぼり
- ♪ふねのせんだうさん
- ♪にらめっこしましよ
- ♪いっぽんばしこちょこちょ
- ♪いものにたの
- ♪アックリ スックリ
- ♪にぎりぱっちり
- ♪ちゅっちゅ こっこ
- ♪ひらいた ひらいた
- ♪うえから したから
- ♪ととけっこう
- ♪オデコサンマイテ
- ♪どんぶかっか
- ♪いっぴきちゅう
- ♪米という字を
- ♪ペッタラペッタン
- ♪かれっこやいて
- ♪ここはてくび
- ♪さよならあんころもち ほか

講座で紹介された参考文献

- ・湯澤美紀 編著 『わらべうたと心理学の出会い 子どもも大人もぐんぐん育つ』
2021 金子書房
- ・湯澤美紀 著 『子どもも大人も絵本で育つ』 2019 柏書房
- ・脇明子 編著 『子どもの育ちを支える絵本』 2011 岩波書店
- ・湯澤美紀 監修 DVD『子どもの心と身体が育つわらべうた 子どもも大人も一
緒に育つ』 2020 ジャパンライム